

市民病院再整備について

健康福祉・医療委員会
平成28年3月16日
医療局病院経営本部

市民病院の再整備については、今年度末の完了に向けて基本設計を進めています。現時点の基本設計の概要についてご報告いたします。

1 計画概要

(1) 敷地計画

所在地	[神奈川県側] 神奈川県三ツ沢西町34番地10他
	[西区側] 西区宮ヶ谷25番地6
病院敷地面積	[敷地全体] 29,422.81㎡ ([神奈川県側] 23,860.23㎡ [西区側] 5,562.58㎡)

(2) 建物概要

階数・構造	診療棟	地下2階/地上7階/塔屋1階 鉄骨造一部鉄筋コンクリート造(免震構造)
	利便施設棟	地下1階/地上2階 鉄骨造
	管理棟	地上4階 鉄骨造
	その他	エネルギー棟 他 鉄骨造
建築面積	[敷地全体] 13,662.84㎡ ([神奈川県側] 10,742.99㎡ [西区側] 2,919.85㎡)	

延床面積	[敷地全体] 63,709.66㎡ 【駐車場含】 78,959.12㎡
	[神奈川県側] 57,842.87㎡ 【駐車場含】 68,233.32㎡
	[西区側] 5,866.79㎡ 【駐車場含】 10,725.80㎡
計画外来者数	1,200人程度/日
計画病床数	650床
	一般病床536床 / ICU・CCU14床 / 救命救急病棟28床 / NICU・GCU(新生児集中治療室及び新生児回復室)21床 / 感染症病床26床 / 緩和ケア病床25床
駐車場	403台

※今後、基本設計、実施設計の進捗により、修正する場合があります。

2 配置計画

- 道路で分けられた2つの敷地に対し、神奈川県側に診療に係る主な機能を集約した診療棟などを、西区側に病院管理に係る機能を集約した管理棟を配置します。
- 診療棟の北東側にはタクシー、バス等の車寄せとなるロータリー、レストランやカフェ等を集約した利便施設棟を配置します。
- 診療棟の西側には、病院機能の維持に係る機能を集約したエネルギー棟等を配置します。

3 外部動線計画

(1) 患者の動線

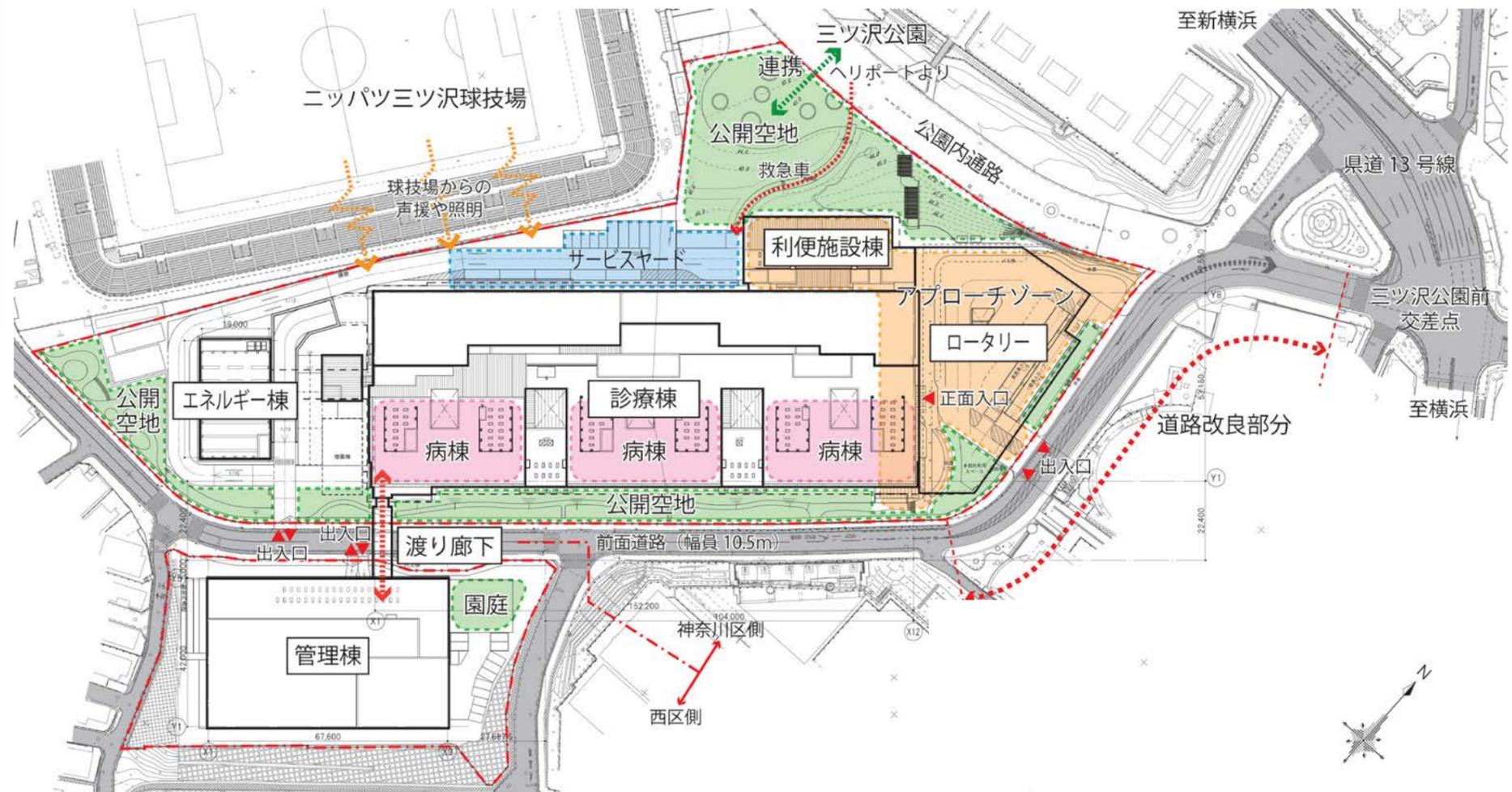
- 病院の主な出入口はロータリーに面した診療棟東側に配置し、前面道路レベルと合わせた1階部分とします。
- 神奈川県側の敷地は、前面道路側に歩道状公開空地を設けて現状の狭い歩道環境を改善し、病院利用者をはじめ周辺住民にも配慮した安全で快適な歩行者動線を形成します。

(2) 救急車動線

- 主にロータリーからのアプローチとしますが、災害時に公園側や西区側からもアプローチができる計画とします。

(3) 一般車両動線

- 一般車のメインアプローチは、ロータリーへの右折進入による三ツ沢交差点付近の渋滞を防止するため、敷地西側からも地下駐車場に入場することができます。
- バス・タクシーは病院の主出入口に近いロータリーに進入する計画とし、タクシーの出庫については原則左折とすることで、周辺交通の安全性を確保します。



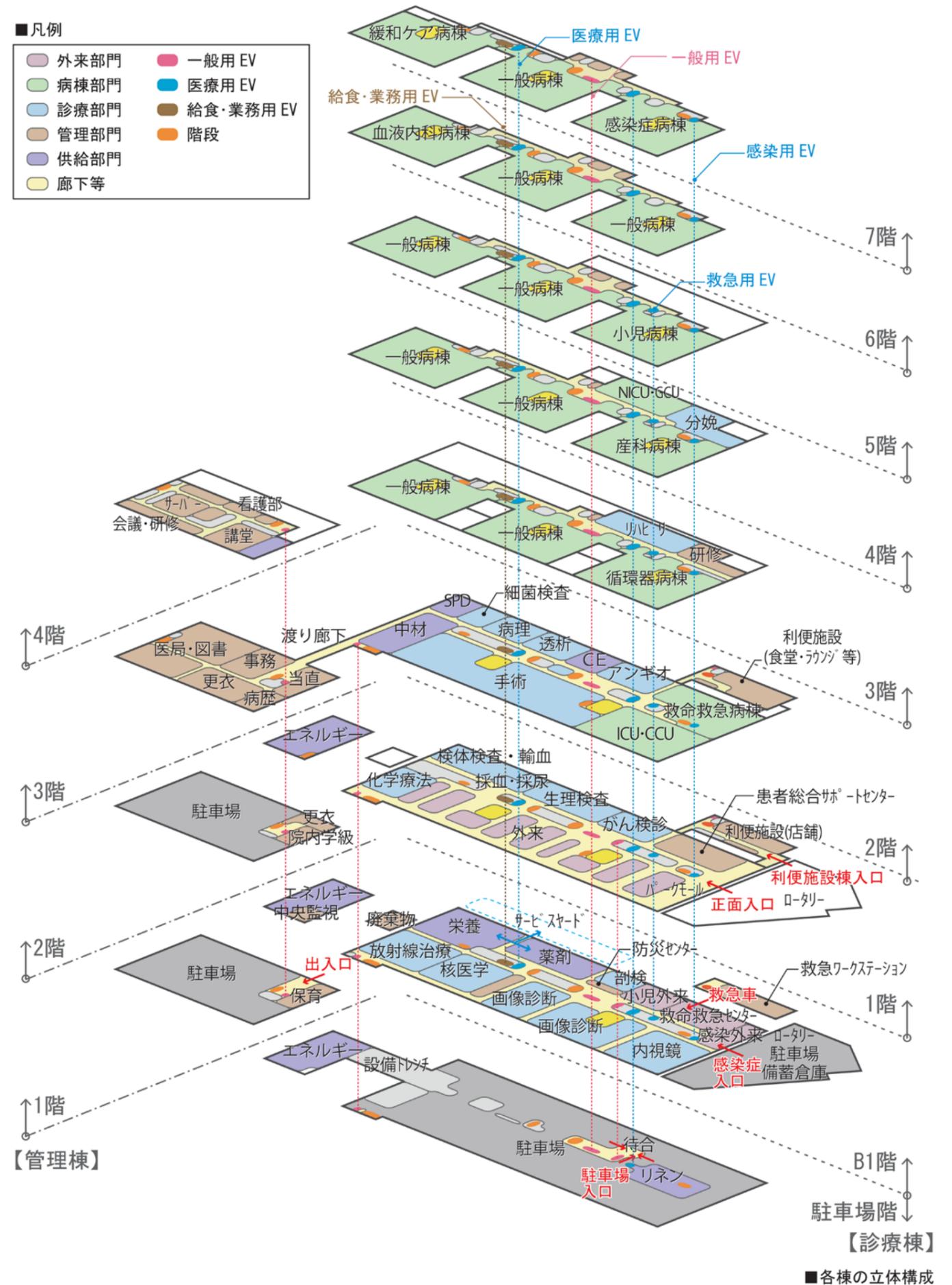
4 各部門構成

場所	内容
【出入口】	<ul style="list-style-type: none"> ・バス・タクシー等で来院した場合は、1階正面玄関 ・自家用車で来院した場合は、駐車場階の入口
【6、7階】	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症病棟（7階）は東側A病棟の感染症外来の直上階に配置し、第一種・第二種病室ゾーンへ患者を直接搬送する専用のエレベーターを設置 ・緩和ケア病棟（7階）は、療養環境に配慮し、眺望がよい西側C病棟の上層階に配置
【4、5階】	<ul style="list-style-type: none"> ・小児・周産期医療のフロアとし、産科病棟（4階）、分娩室（4階）、NICU・GCU（4階）、小児病棟（5階）を配置
【3階】	<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリテーションと循環器病棟を配置 ・循環器病棟は2階ICU・CCUの集中治療病棟の直上階に配置
【2階】	<ul style="list-style-type: none"> ・周術期の医療の連携を強化するため、主に周術期医療と救急医療のフロアとし、手術室（15室）、血管造影室（3室）、ICU・CCUの集中治療病棟（14床）、救命救急病棟（28床）を隣接して配置
【1階】	<ul style="list-style-type: none"> ・外来診療のフロアとし、一般外来の診察室・中央処置室、臨床検査、患者総合サポートセンター、がん検診センターを配置
【地下1階】	<ul style="list-style-type: none"> ・救急医療と一般外来に関連の深い画像診断、内視鏡等を配置。また、救急隊との密接な連携に配慮し、救急ワークステーションを併設
【駐車場階】	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場 地下玄関

【管理棟】	<ul style="list-style-type: none"> ・管理部門は主に管理棟に配置。また、関連部門として1階に院内保育所（定員45名程度）、2階に院内学級、4階に学生実習室、講堂等を設置 1、2階に駐車場を整備
【便利施設棟】	<ul style="list-style-type: none"> ・コンビニエンスストアやレストラン、カフェ等を公園側に設置 ・診療棟と渡り廊下で連絡
【エネルギー棟】	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー部門はESP事業の導入を想定し、別棟で整備

■凡例

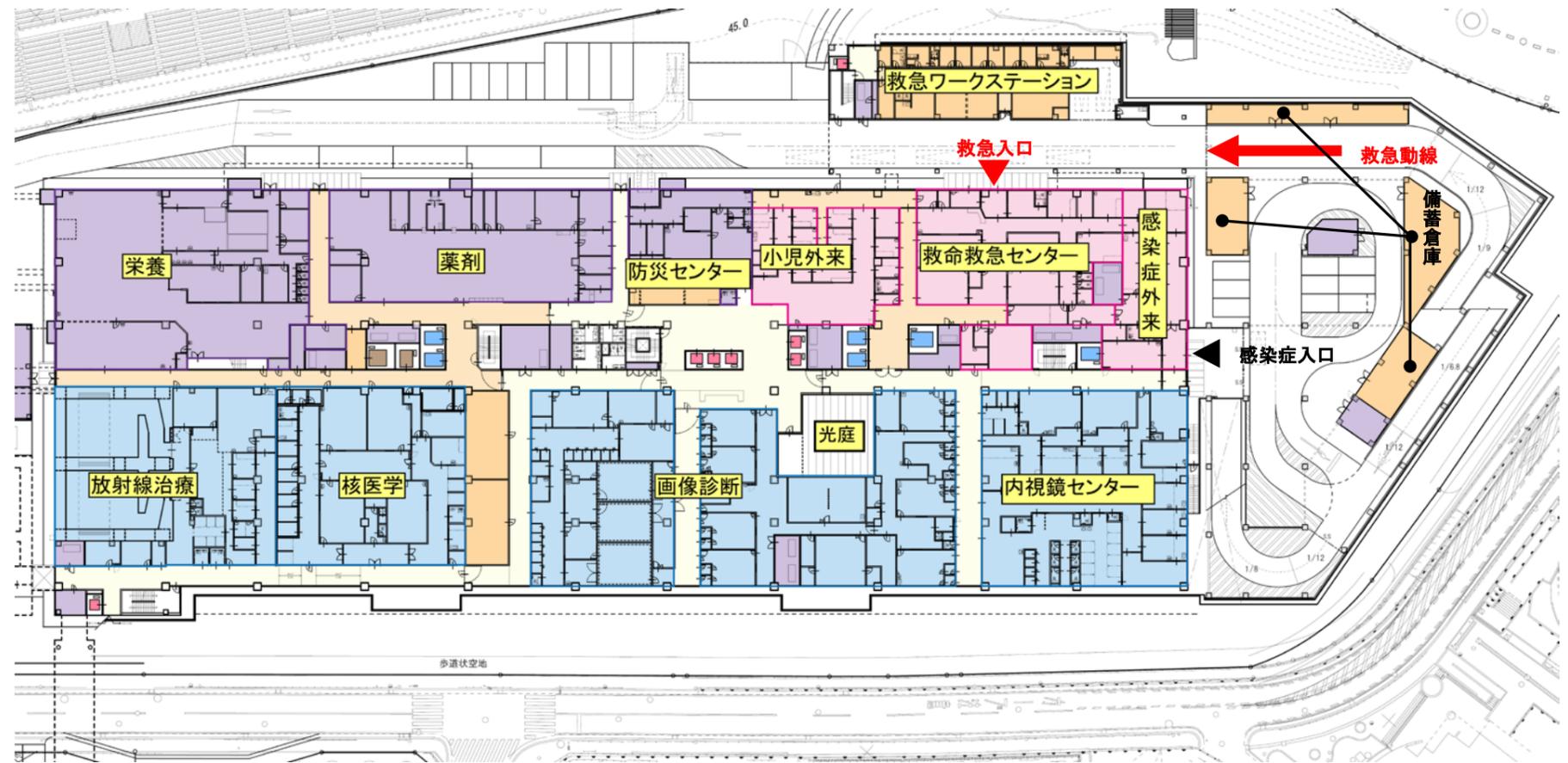
- 外来部門
- 病棟部門
- 診療部門
- 管理部門
- 供給部門
- 廊下等
- 一般用EV
- 医療用EV
- 給食・業務用EV
- 階段



■各棟の立体構成

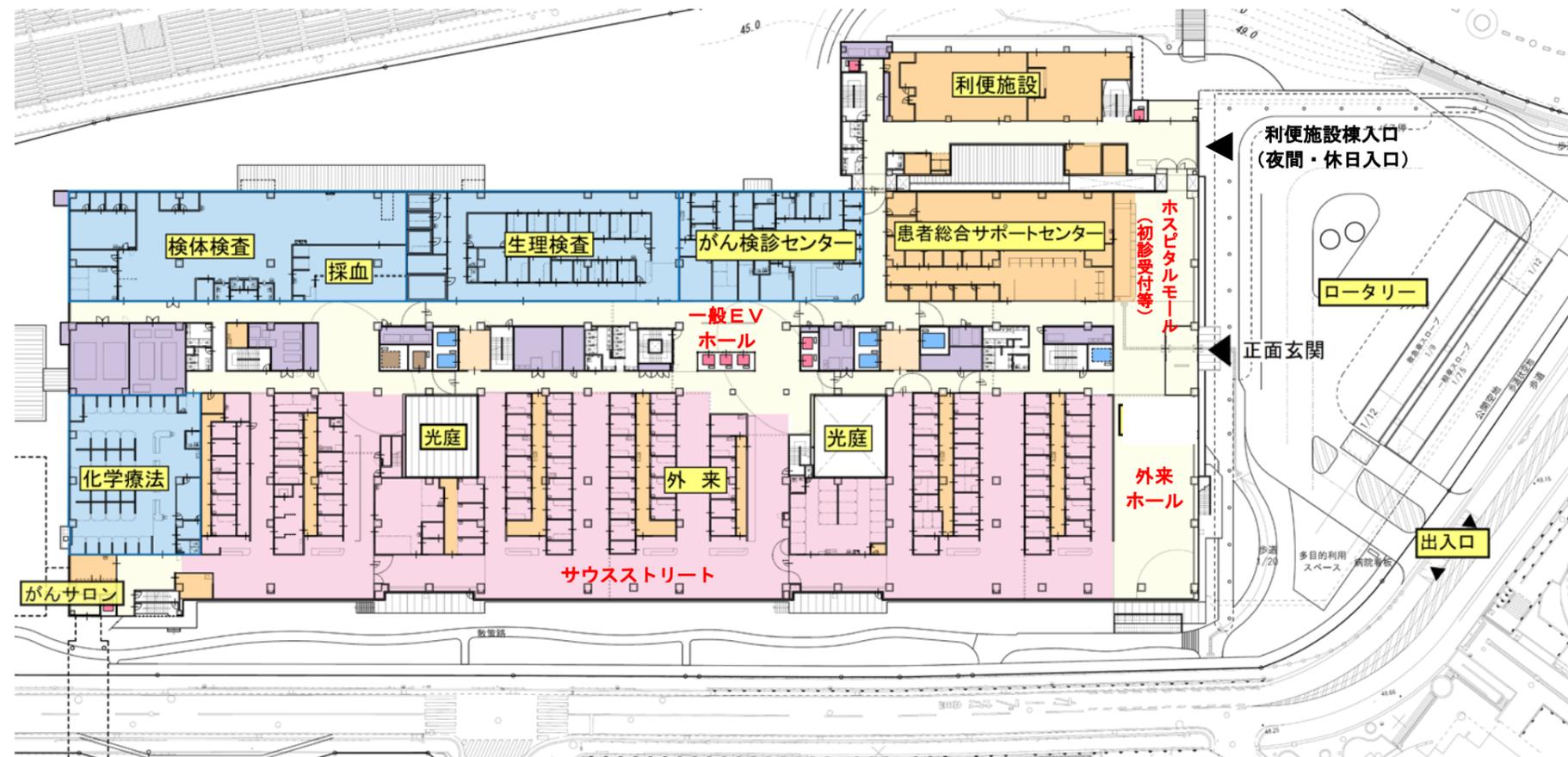
(1) 地下1階の計画

- 救命救急センター、ER、小児外来、感染症外来を並べて配置し、救急医療、小児救急医療、災害医療を連携して担うゾーンに整備します。感染症外来は独立したゾーンとし、出入口と駐車場を分離します。
- ロータリー下の感染症外来入口前のスペースに災害用備蓄倉庫を整備します。



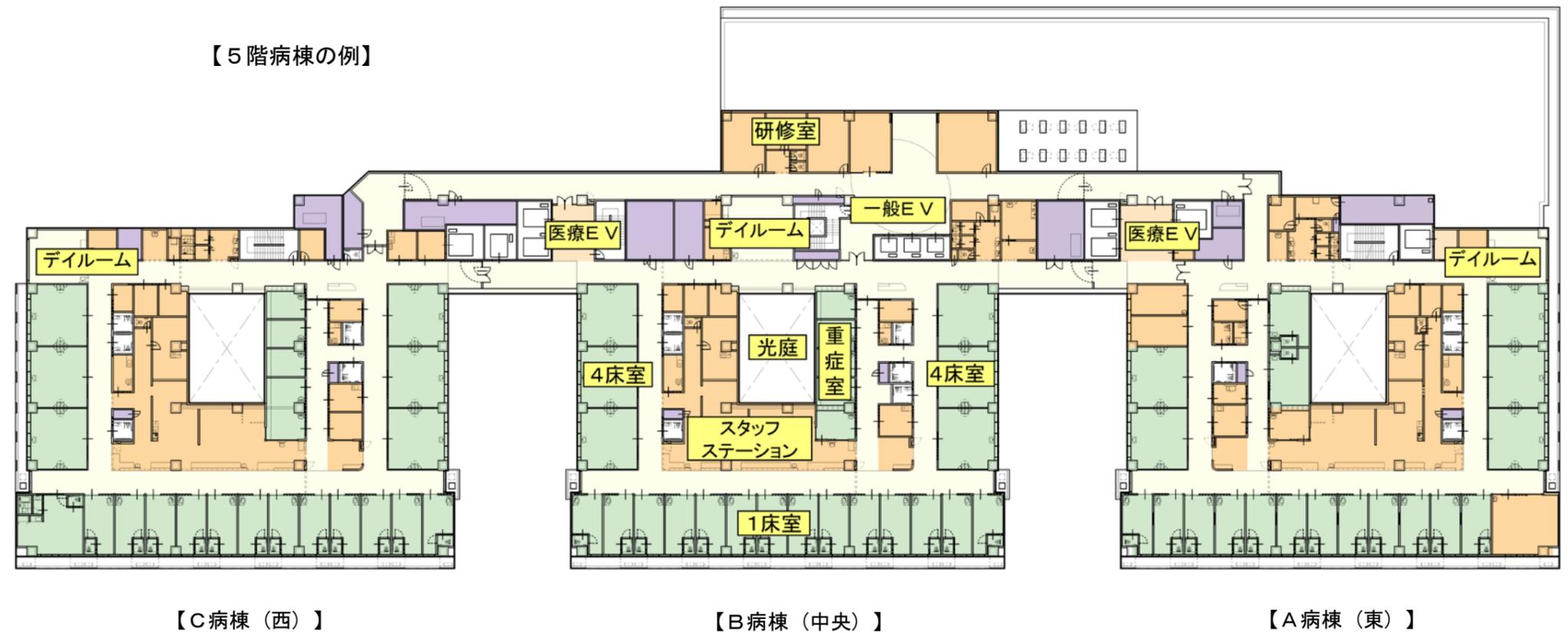
(2) 1階の計画

- 一般外来を南側に、検査部門などを北側に配置します。
- ロータリーに面した出入口と地下駐車場利用者の一般エレベーターホールの2か所にエントランスを設けます。
- 公園に面してコンビニエンスストアやレストラン、カフェ等を配置します。公園利用者にも開放し一帯のにぎわいを創出します。
- 南西側に化学療法室(30床)とがんサロンを近接して配置します。
- 災害時にロータリー、外来ホール(待合)を、傷病者の受け入れ、トリアージスペースとして一体的に活用します。

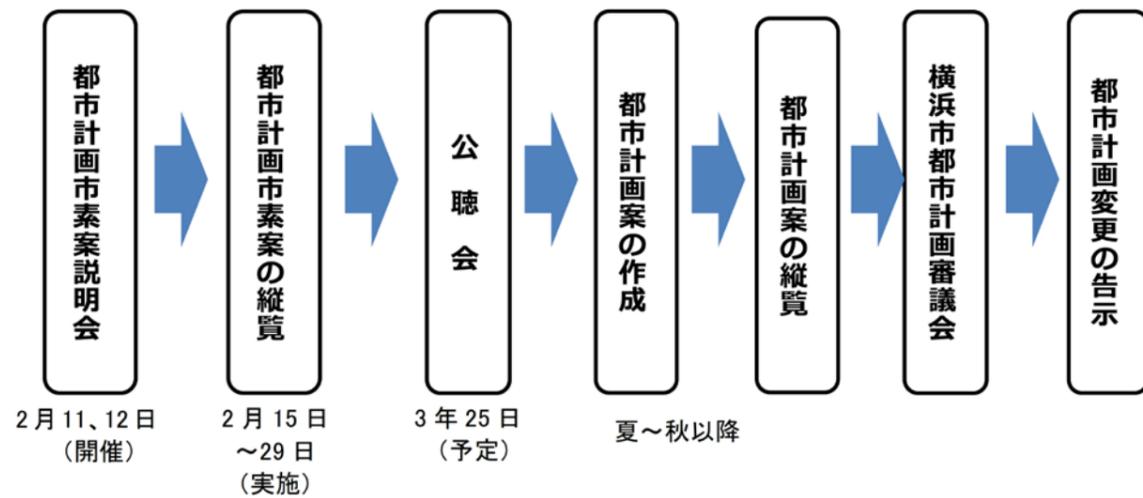


(3) 病棟の計画

- 3つの病棟を並列に配置し、2か所の医療エレベーターホールから搬送動線を確保します。
- 病室は1床室2室を4床室に、4床室を1床室2室に改修可能な構造とし、医療環境の変化に対応します。
- 1病床当たりの面積は、現行の6㎡から8㎡以上に拡充します。
- 病床管理のしやすさやプライバシーへの配慮から十分な数の1床室を整備します。
- 1フロア共用の研修室を設置するなど、3病棟の相互利用と多職種によるチーム医療の環境を整備します。
- スタッフステーションは死角が少なく見通しのよいオープンカウンターとします。
- 重症室と1床室をスタッフステーション近くに配置し、迅速な対応を可能とします。



5 都市計画決定等



全体スケジュール

